

■主催：私立大学図書館協会中国・四国地区協議会

■日時：2014年9月4日（木）・5日（金） 第1日 9月4日（木）13:15～15:00（105分 質疑応答込）

■会場：山陽学園大学 多目的ホール（岡山県岡山市）

## 驚くほど学生が集まる図書館演出術 — 少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデア —

仁上幸治／図書館サービス計画研究所 代表

### 1. 講演概要

図書館職員非正規化と業務外部委託化の流れの中で図書館利用者を味方にする方法を考え直すヒントを提供してみたい。

第一に、図書館員は最近、かなり疲れているのではないかと。最近の研修会での講師経験から見えてきた図書館現場の状況は、疲労困憊。図書館員の生き残りという問題意識を持ち、現場で様々な改善に取り組む努力を惜しまない姿勢はすばらしい。そしてその改善に必要な知識・技能を向上させるために各地で開催される様々な研修機会に参加することは必要である。さらに自主的な研究会・勉強会を立ち上げてその運営に積極的に参加することは賞賛に値する。しかし、研修に付随する準備と運営と事後処理などに要する時間と労力は膨大である。せっかく研修で得た能力を現場でのサービス改善に投入し成果を出すところまで行けなければ、本末転倒になりかねない（人脈を広げる懇親会はひとまず措くとして。笑）。最近、気になる要注意点である。

第二に、図書館員は厚く硬い壁に囲まれている。壁は改革者にとって昔からうんざりするほどあった。壁は今も残っている。そして図書館員の認識の中にも、無意識の壁がある。

1) 前例主義の壁。

2) PULL方式の限界。広報や利用者教育で図書館の魅力・有益性をアピールして来館者・利用者を増やそうという問題意識は妥当であるが、その効果はせいぜい20%程度のものにすぎないことにもっと自覚的であるべきである。「利用せざるを得ない」状況作り、つまりPUSH方式も同時並行で強化していくべきである。

3) 自己認識の壁。社会的評価とのギャップに無自覚すぎる。図書館員の自己アピール下手とは別に、知識・能力自体に潜む省力化・効率化への意思の不足が、実は内なる壁になっている。

第三に、壁を壊していくには3つの視点が重要である。

1) 固定観念を捨てる。発想の転換が必要である。そのためにも、図書館という箱の中にもこもってはダメである。外の世界に目を開くには同業者の内部研修だけでは不十分である。異業種の人材から発想や仕事術を学ぶべきである。

2) 「できない」と言わない。変化する社会状況に対応するための新しい企画案に対して、可能性を追求することが必要不可欠な態度である。図書館界の悪しき伝

統では、とにかくまず、変化を嫌う。新提案について、マイナス面だけをあげつらって葬り去ろうとする消極的心性がだめである。特に、専門職としての社会的評価が低落し、「専任・専門・正規」の地位を追われつつある「ジリ貧」状況では、自己保身的な弁明ではなく、対社会的な存在感訴求に徹底的に取り組む現状打開型の挑戦的思考が必要である。

3) 楽しい仕事ぶりを見せる。厳しい社会情勢の中で、苦しい後退戦を戦っていくには、かえって遊びとユーモアの精神が必要である。特に、PR（パブリックリレーションズ）とマーケティングの業務では、従来の美德であった真面目さ、手堅さ、地味さは足枷になる。マイナスイメージを払拭するためには、経営革新の技法としてのブランディングが有効である。

第四に、有望な取り組み領域から4つ挙げる。

1) 研究室へ攻め込む。帳票を再設計する。講習会メニューを埋め込む。研究室単位のインストラクター制度をスタートさせる。研究室単位の固有の専門的文化の伝承装置の設置と運営を図書館が支援する。

2) リザーブ図書を徹底的に充実させる。指定図書という誤解を解くことが先決である。アメリカ型授業モデルの予習・討論・レポート・成績評価のシステムが、全受講者の確実な読了を保障する図書館サービスを大前提としていることを深く理解する必要がある。教科書・必読文献・推薦文献という文献の用途区分と、販売（図書・コースバック）・蔵書利用・ハンドアウト配付という入手方法区分を上手に組み合わせることに図書館員の運営手腕が活かされる。

3) ライティング支援に踏み込む。レポート・論文作成は一連の作業であるので、図書館側は情報探索支援・整理支援の次は表現支援に乗り出すべきである。大学の教育研究への直接貢献に積極的に取り組むことによって、専任・専門・正規の3条件の確保への道が開ける（可能性が見えてくる）。

4) 街へ出る。図書館活用法、データベース活用法などの市民講座の講師を務める。大学図書館への市民からの評価が向上する。各種広報媒体に掲載された評価の声を大学内へ逆輸入して大学図書館員の学内的評価を向上させる。

5) ブランディングを実践する。館として、館員自身の自分ブランディング。入門編は参考文献を参照。詳細各論は次の機会にワークショップ形式で。

最後に、提言。Never Say Can't!

**配付資料(別紙)****2) 参考資料**

参考1) 2013 年度春学期「学校経営と学校図書館」(仁上幸治)

授業の計画一覧表

参考2) 事例: 早稲田大学高等学院図書室

仁上幸治「わが校の図書館あんなに: 早稲田大学高等学院」『学校図書館』no.489, 1991.7, pp.70-71. 巻頭口絵写真 2p.

参考3) 早稲田大学高等学院図書室利用案内 1989

参考4) 早稲田大学高等学院図書室(附属高校)の図書館報 1991 年版

参考5) 早稲田大学高等学院図書室 投書箱実例

参考6) 葉の裏面見本: 早稲田大学高等学院図書室「返却期限日葉」1989-91?

参考7) 田村修「神奈川県立川崎北高校 図書館改造 Before & After」『TTimes』[巻号不明], キハラ, 2006?, pp.11-14.

参考8) 札幌南高校の事例: 卒業生とのコラボ

3) シラバス原稿依頼状例

4) 帳票例 1: ILL

5) 帳票例 2: DB 講習会

6) 国際教育センターニューズレター

参加者アンケート

**2. 講演内容****【1】図書館員の疲労状況**

\*\*\*\*\*

図書館員は疲れている?

事例

図書館員の生き残りという問題意識

現場での改善努力

各種研修機会に参加

自主的な研究会・勉強会の運営参加

本末転倒

研修の準備・運営・事後処理に要する時間と労力

現場でのサービス改善に投入し成果を出す余力なし

(懇親会はひとまず措く。(笑))

●2012.01.28-MULU(みちのくライブラリアン連合)1 月茶話会 話題提供「図書館ブランディング「超」入門講座ー何を誰にどうアピールするかー」東北学院大学中央図書館

[http://mulu.g.hatena.ne.jp/michinoku\\_librarian/20120210/1328868026](http://mulu.g.hatena.ne.jp/michinoku_librarian/20120210/1328868026)

●2014.08.13-MULU5 周年記念定例茶話会第 50 回「24 時間茶話会 MULU は地球(みちのく)を救う!ー今日日はまるごと図書館三昧ー」講演「お疲れライブラリアン講座 即効! 元気回復! PR・ブランディング・広報のソゴ技を一挙に紹介します!」東北大学川内キャンパス教育学部棟

[http://mulu.g.hatena.ne.jp/michinoku\\_librarian/20140808/1407485355](http://mulu.g.hatena.ne.jp/michinoku_librarian/20140808/1407485355)

●2013.07.06-07-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別研修「ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディングー潜在ユーザー発掘大作戦ー」九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館 3F 多目的学習室(福岡県

北九州市)

[案内]

[実況 1 日目]

[http://d.hatena.ne.jp/dtk\\_fukuoka/20130710](http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20130710)

[実況 2 日目]

[http://d.hatena.ne.jp/dtk\\_fukuoka/20130711](http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20130711)

[報告]

[資料一式・アンケート結果]

<講師資料・各班発表資料・アンケート結果>

<https://sites.google.com/site/dtkfukuoka/home/document>

<当日のツイッターまとめ>

<http://togetter.com/li/530375>

<http://togetter.com/li/530345>

\*1 年後の続編

●2014.6.14-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別企画「潜在ユーザー発掘大作戦で大発見!!ーハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディングを学んでー」九州国際大学図書館

[http://d.hatena.ne.jp/dtk\\_fukuoka/20140520](http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140520)

[http://d.hatena.ne.jp/dtk\\_fukuoka/20140614](http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140614)

「成果報告」Ustream ライブ配信中!

<http://www.ustream.tv/channel/%E5%A4%A7%E5%9B%B3%E7%A0%94%E7%A6%8F%E5%B2%A1%E6%94%AF%E9%83%A8%E7%89%B9%E5%88%A5%E4%BE%8B%E4%BC%9A>

報告

[http://d.hatena.ne.jp/dtk\\_fukuoka/20140708](http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140708)

[http://d.hatena.ne.jp/dtk\\_fukuoka/20140710](http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140710)

**【2】図書館を囲む壁 \*\*\*\*\***

図書館員は厚く硬い壁に囲まれている。

**1) 前例主義の壁。**

ひとり職場

前任者から引き継ぎ

ルーティン業務だけで精一杯

新規業務の余力なし

前例どおり

仁上の素朴な疑問

省力化のギリギリの努力は?

無駄な手間を省くためなら、どんな手間も惜しまない! (^^;

事例

●2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会「忙しい図書館員のための PC 使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう!ー」精華女子短期大学(福岡県福岡市)

<https://docs.google.com/file/d/0BzjFUntj382Ymw4VFE5X0phWnM/edit>

**2) PULL 方式の限界。**

来館者を増やすには?

利用・貸出を伸ばすには?

どんな広報で?

事例

●2013.08.11-大学図書館問題研究会全国大会第 8 分科

会:利用者支援「イマドキの大学生のココロをつかむー初年次教育・図書館ガイダンス・授業の導入部にもっと工夫を！ー」つくば国際会議場(茨城県つくば市)

<https://sites.google.com/site/dtk2013tsukuba/home/schedule/bunkakai#dai8>

無理！

啓蒙効果はせいぜい20%程度  
「利用せざるを得ない」状況作りが必須

## PUSH 方式

事例

仁上の授業

自発的利用を強制する！(笑)

→方法は別な講演機会に。^；

前提条件

図書館

リザーブ図書制度

教員

図書館利用教育の教授法

FD の機会増加と応用実践評価

非常勤講師向け機会設定

>>講演1回分(今回は略)^；

## 3) 自己認識の壁。

社会的評価とのギャップ

図書館員の自己アピール下手

省力化・効率化への意思の不足

事例

●2014.07.30-神奈川県教育委員会学校図書館ブランディング論研修講座「学校司書のためのブランディング入門～イメージ革新のための劇的ビフォーアフター」神奈川県立神奈川総合高等学校 多目的ホール(神奈川県横浜市)

事前課題アンケート

仁上論文4本読了

事前アンケート回答

当日、回答集計結果を投影

例1

設問への疑問点と回答

Q.ショートカットキーを活用していますか？

1)「ショートカットキーの活用にどういう意味が？」

・PC の達人イメージの印象づけ

・合理化・省力化の意思表示

2)「本質論を欠いた表面的な流行を危惧します」

・ブランディングは表面的？

経営革新手法！

・手順前後？

すぐできることから着手！

3)「正論だが・・・」

・何かが躊躇させる

原因は外部？

自分の姿勢？

## 危機意識

学校図書館法の一部を改正する法律案

[http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb\\_gian.nsf/html/gian/keika/1DBAF42.htm?OpenDocument](http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_gian.nsf/html/gian/keika/1DBAF42.htm?OpenDocument)

「専任・専門・正規」は否決

なぜ？？？

事例

・『学校司書って、こんな仕事:学びを広げる学校図書館』学校図書館問題研究会

2014 年 07 月 本体価格 1,400 円＋税

<http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/ka/0699.html>

・村上恭子『学校図書館に司書がいたら; 中学生の豊かな学びを支えるために』少年写真新聞社, 2014(シリーズ学校図書館).2014-07-25 ¥1,890

<http://www.schoolpress.co.jp/s-697/>

はじめに

私は現在、東京学芸大学の附属中学校に、非正規ながら司書資格を持った専任の司書として、毎日、そして生徒が登校してくる朝から放課後まで、図書館で仕事をしています。しかも、同じ学校に長く勤務し、近年は本校の教育活動にも深く関わってきました。

## ジリ貧

大辞林 第三版

じり貧

② しだいに貧乏になっていくこと。反対語: どか貧

2014 年 05 月 10 日

第72期名人戦7番勝負/第3局

質問:66手目△4五歩で本格的な戦いになったが、仕掛けに成算はあったのか。

羽生「もう行かないとジリ貧になってしまうので……。自信があったわけではないが、指す手がなくなってしまうのではないかなあと」

## 「ジリ貧」状況

専門職としての社会的評価が低落

「専任・専門・正規」の地位を失う

自己保身的な弁明

現状打開型の挑戦的思考へ

## 状況判断

地道な努力の積み重ね？

いつかは評価される、はず？

## どこが専門職？

メディアのプロ？

保存と貸出のプロ？

編集のプロ？

媒介のプロ？

## 編集力

雑誌の背表紙がバラバラ

>>ほんとに資料のプロ？

雑誌本文にタテヨコ混在

無駄に大きすぎる図版

文字級数がバラバラ

スライドの大きさがまちまち

>>編集力は素人並み？

事例

・『しみっこ』41, 2014.4

和歌山県学校図書館研究会学校司書部会

段組みが曖昧

図形の外形線がない

図形の大きさが不ぞろい

>>レイアウト力は怪しい？

司書課程で習っていない！

### 【3】壁を壊していく3つの視点 \*\*\*\*\*

#### 1) 固定観念を捨てる

発想の転換

外の世界に目を開く

異業種の人材から発想や仕事術を学ぶ

事例

誰も借りてくれない本 100 冊 ICU 図書館で紹介:朝日新聞デジタル

[www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html](http://www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html)

#### ●鎌倉幸子(シャンティボランティア会)

・MULU での出会い

2012.01.28-MULU(みちのくライブラリアン連合)茶話会

・新宿区北図書館での偶然の再会

2013-07-14 図書館×広報×マーケティング

<http://ameblo.jp/1192-sachiko/entry-11572195358.html>

2013.8.8 ランチ@トルコ料理 ヒサル(新宿区百人町)

#### ・図書館を愛してやまない人の飲み会

第3回「ここが変だよ図書館用語」(ソフトドリンクあり)

2013.09.27@シャンティ国際ボランティア会)

#### ・図書館愛人協会(略称)

図書館を愛してやまない人協会

図書館を愛してやまない関根夕希さんが伊勢に行く瞬間を見送る会

2014年7月1日 19:00 - 21:50

タイ国屋台食堂 ソイナナ(西新宿)

#### 2) 「できない」と言わない

変化を嫌う図書館界の悪しき伝統

マイナス面だけをあげつらう消極的心性

事例

新宿区立中央図書館

廃校になった中学校校舎へ移転

新館建設計画はビミョー?

Never Say Can't!

新宿区中央図書館の玄関にある標語)

<https://www.facebook.com/koji.nikami.10/posts/522106897894406>

旧中学校の玄関のまま

事例

ロックバランシング

・石花ちとく

<http://www.ishihana.jp/>

世界が認める日本のロックバランスアーティスト(4'07")

<https://www.youtube.com/watch?v=z4J2jYcm0Qg>

事例

里山資本主義

・『里山資本主義』藻谷 浩介/NHK広島取材班 角川書店, 2013.7.

<http://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784041105122>

里山のチカラ - NHK オンライン

[http://www.nhk.or.jp/eco-](http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motani01.html)

[channel/jp/satoyama/interview/motani01.html](http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motani01.html)

事例

・PPR(私立大学図書館協会企画広報研究分科会広報誌)

#### 3) 楽しい仕事ぶりを見せる

厳しい社会情勢

苦しい後退戦

遊びとユーモアの精神

PR(パブリックリレーションズ)とマーケティング

真面目さ、手堅さ、地味さは足枷

ブランディングが有効

### 【4】有望な5つの取り組み領域 \*\*\*\*\*

#### 1) 研究室へ攻め込む

##### 1.帳票を再設計する

講習会メニューを埋め込む

帳票例 1: ILL

帳票例 2: DB 講習会

##### 2.研究室単位のインストラクター制度

研究室単位の固有の専門的文化の伝承装置

その設置と運営を図書館が支援する

・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けてー研究室内部知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試みー」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5.

[http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f\\_index08.html](http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f_index08.html)

##### 2) リザーブ図書の徹底的に充実させる

指定図書という誤解を解く

アメリカ型授業モデル

予習・討論・レポート・成績

全受講者の確実な読了を保障

教科書・必読文献・推薦文献

蔵書・コースバック・ハンドアウト

事例

早稲田大学国際教育センターのリザーブ図書システム

別紙資料

・仁上幸治「アメリカの大学図書館よりずっとアメリカ的!?ー Much more American than American university libraries!ー」『早稲田大学国際教育センターニューズレター』第3号, 2000.7.10, pp.6-9.

<https://docs.google.com/file/d/4f6aF1u1B82MGNNDz07BOW1uY909TU9L7B3TQ9nQqM8vOCVnMGMe/edit?dlog=1449144>

早稲田大学国際部図書室 シラバス原稿依頼 2000 年

早稲田大学所沢図書館 シラバス改善案 2006 年

##### 3) ライティング支援に踏み込む

レポート・論文作成は一連の作業

情報探索・整理の次は表現

大学の教育研究への直接貢献

専任・専門・正規の3条件の確保へ

事例

・筑波大学附属図書館 ライティング支援連続セミナー

[http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/writing\\_seminar/chishikitokotoba.html](http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/writing_seminar/chishikitokotoba.html)

・早大:ライティング・センター所沢分室、図書館に開室!

[http://www.wul.waseda.ac.jp/news/news\\_detail.html?news\\_no=440](http://www.wul.waseda.ac.jp/news/news_detail.html?news_no=440)

参考

■帝京大学 MELIC 講座「レポート・論文作成「超」実用講座」

帝京大学メディアライブラリーセンター(MELIC) 2階 情報学習室  
 ◎2012年度  
 ・2012.07.12-第1回「即効入門編:ただの感想文じゃダメだったのか!?!の巻」  
 ・2012.10.25-第2回「執筆準備編:いきなり書き始めちゃダメだったのか!?!の巻」  
 ・2012.11.29-第3回「読解・下ごしらえ編:イイとこ取りの丸写しじゃダメだったのか!?!の巻」  
 ・2012.12.06-第4回「執筆・仕上げ編:イッキ書き速攻提出じゃダメだったのか!?!の巻」  
 ★配布資料,スライド,アンケート結果など資料一式公開中!  
 ★ビデオ記録ウェブ公開開始!(学内限定)[2012年12月]  
<https://apps.v.main.teikyo-u.ac.jp/tosho/lecture/report-koza.html>

#### 4) 街へ出る

市民講座の講師を務める  
 図書館活用法、データベース活用法など事例  
 ・梅澤貴典(中央大学学事部学事課副課長)  
 「誰でもできる! 知的生産のための図書館&公的データベース活用法」2014.7.26 墨田区 ひきふね図書館  
<http://www.ustream.tv/channel/sumitoshopartners>  
 7月26日  
 手応えのある講習会でした!  
 本当にありがとうございました。  
 本日は、データベース活用講座にご参加頂き、大変ありがとうございました。梅澤先生のいなせな浴衣姿もご堪能頂けたと思います。(^-^)  
 講演会后、図書館関係者でお茶会をしました。  
 その後は花火大会へなど、三々五々と。。。ustreamもよろしく願います。  
<http://hikifunetoshokanpartners.jimdo.com/講座ライブ中継/>

成果のリサイクル  
 市民からの評価が向上  
 評価の声を大学内へ逆輸入  
 大学図書館員の学内的評価を向上

#### 5) ブランディングを実践する

館として、館員自身の自分ブランディング。  
 前回の入門編で解説済み。  
 詳細各論は次の機会に。

まとめ

##### 【3】壁を壊していく3つの視点

- 1) 固定観念を捨てる
- 2) 「できない」と言わない
- 3) 楽しい仕事ぶりを見せる

##### 【4】有望な5つの取り組み領域

- 1) 研究室へ攻め込む
- 2) リザーブ図書の徹底的に充実させる
- 3) ライティング支援に踏み込む
- 4) 街へ出る
- 5) ブランディングを実践する

#### 今日の結論

図書館員は疲れている  
 しかし、それでも頑張るしかない。  
 驚くほど学生が集まるには  
 図書館演出術を発想から変える必要  
 少人数職場だからこそ今すぐできる  
 即効アイデアの共有化・ツール化  
 せめて  
 楽しく! (^)v

#### ◎研修機会

仁上講演予定  
 ・2014.09.20-22-図書館サービス計画研究所+地域資料デジタル化研究会共催「図書館ブランディングフェスタ2014」(仮称)山中湖情報創造館(予定)  
 ・2014.11.01-全国図書館大会 図書館利用教育分科会「図書館利用教育の実践力の今ー委員会創設25周年、次に向けての展望を開く」基調講演「図書館利用教育はどこまで進化したか」明治大学駿河台キャンパス(東京)  
<http://www.jla.or.jp/tabid/400/Default.aspx>  
 ・2014.11.05-図書館総合展フォーラム: 図書館サービス計画研究所(略称図サ研)主催: 今日から使える図書館ブランディングセミナー(4)  
 「味方づくり戦略入門ーPRを立て直すための「超」実践講座ー」基調講演: 11月5日(水)13:00~14:30 フォーラム第7会場

#### ◎自習文献

仁上論文  
 ・「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう!ー」『短期大学図書館研究』33, 2014.3, pp.107-122.(CD-ROM版あり)  
 (2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会/精華女子短期大学)(講演録)  
 ・「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するかー教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言ー」『帝京大学総合教育センター論集』(5), 2013, 2014.3, pp.69-93.  
 ・「情報メディアは作ってみればわかるーメディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫ー」『帝京大学情報処理センター年報』(16), 2013, 2014.3.31(7.26刊行), pp.95-109.  
 ★仁上初単著  
 ・仁上幸治著『図書館員のためのPR実践講座ー味方づくり戦略入門ー』樹村房(2014年9月、シリーズ刊行開始予定)

## ■ 0. 付録: 事前課題アンケート \*\*\*\*\*

2014年度(第44回)私立大学図書館協会西地区部会における事前アンケート

最も自信のある取り組みの詳細

改善したい取り組みの詳細



新たに始めたい取り組みの詳細

#### i) オリエンテーション(ガイダンス)・講習会

- 1.新入生向け
- 2.留学生向け
- 3.新任教職員向け
- 4.文献(データベース)検索
- 5.レポート・論文
- 6.文献管理ツール
- 7.行っていない

#### ii) レファレンス

- 1.文献調査
- 2.レファレンスツールの作成
- 3.専門とするスタッフの配置
- 4.行っていない

#### iii) 部屋・スペースの活用

- 1.ラーニングコモンズ
- 2.パソコンルーム
- 3.シアタールーム
- 4.飲食スペース
- 5.ライティングセンター
- 6.行っていない

#### iv) 教職員との連携について

- 1.リザーブブック
- 2.推薦図書
- 3.行っていない

#### v) 地域や企業との連携について

- 1.閲覧

- 2.貸出
- 3.子供向け読み聞かせ
- 4.行っていない

#### vi) マルチメディアによる広報・PR 活動

- 1.図書館のホームページ
- 2.SNS(Facebook,twitter,LINE,ブログなど)
- 3.動画投稿サイト(youtube,ニコニコ動画など)
- 4.図書館報などの出版物
- 5.行っていない

#### vii) 図書館による学生参加型活動

- 1.学生選書ツアー(ブックハンティング)
- 2.ビブリオバトル
- 3.読書感想文コンテスト
- 4.図書館サポーター
- 5.行っていない

#### viii) 独自のロゴ・キャラクター、及びそのグッズ

- 1.作成または使用している
- 2.作成も使用もしていない

#### i) 見てみたい資料

- 1.利用案内(総論)
- 2.利用案内(各論)
- 3.パスファインダー
- 4.チラシ(フライヤー)
- 5.ポスター
- 6.掲示
- 7.ILL 申込用紙などの帳票類
- 8.グッズ

## ■ 1. 参考文献

\*\*\*\*\*

### ●図書館利用教育ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドラインー図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3

### ●オリエンテーション・講習会

- ・仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法:印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.
- ・仁上幸治「オリエンはエンタメだ!ー素敵な印象を伝えるプレゼンテーションをー」『学図研ニュース』No.229,2005.3.1(特集オリエンテーション)pp.2-5.
- ・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けてー研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試みー」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. [全文]
- ・仁上幸治「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)ー素材を集め,問題を作り,要点を説明する方法ー」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3, pp.88-108.

### ●広報・PR

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス

研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』, 1982.12.

- ・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27,1987.3,pp.58-90. [全文]
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開をめざしてー』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381
- ・仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- ・仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編)ーレイアウト改善の5つのポイントー」『館灯』47,2009.3.31, pp.124-129.
- ・仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に!ー少人数職場ならではの即効変身術ー」『短期大学図書館研究』No.29(2009), pp.49-53.
- ・仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集図書館アピール)
- ・仁上幸治「これからの「PR」の話をしようーいまを生き延びるための図書館経営学ー」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)

### ●広告

- ・谷山雅計『広告コピーってこう書くんだ!読本』宣伝会議,2007.
- ・宣伝会議コピーライター養成講座編『最新約コピーバイブル』宣伝会議, 2007.
- ・デンソウデザインタンク編著 後藤徹 監修『新アートディレクター入門』電通, 2007.3

- ・姫路市立美術館,凸版印刷株式会社印刷博物館 編『大正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界 : 印刷技術と広告表現の精華』国書刊行会, 2007.7
- ・眞木準 著『胸からジャック。 : 心にささる一行メッセージのつくりかた。』大和書房, 2007.7
- ・オブスキュアインク 著『レイアウトデザインのルール : 目を引くページにはワケがある。』ワークスコーポレーション, 2008.2
- ・堀内敬一 著『売れる!チラシのデザインルール』グラフィック社, 2006.6
- CIとブランディング
- ・ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント. 第3版. 東急エージェンシー出版部. 2010.
- ・菅谷明子著『未来をつくる図書館: ニューヨークからの報告』岩波書店, 2003(岩波新書 新赤版 837). 735 円
- ・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略—デザインが企業経営を変える—』誠文堂新光社, 2010.4.
- ・仁上幸治「図書館の魅力は細部に宿る—「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14. [全文 PDF]
- 図書館グッズ
- ・図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成 21 年東京都図書館協会研究助成報告書), 2010.2, 33p.
- ・仁上幸治「グッズが図書館を元気にする!—暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器—」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手: 鈴木正紀]『大学の図書館』426, 28(5), 2009.5, pp.70-75.
- ・仁上幸治; 中島玲子; 石川敬史「笑顔を生み出す「魔法」の戦略ツール—図書館グッズの研究・開発・普及活動—」『薬学図書館』55(2), 2010.4, pp.94-101.
- プレゼンテーション
- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門—プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスC D-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで—』講談社, 1995(ブルーバックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術—意図を正しく伝えるための16のルール—』講談社, 1999.3(ブルーバックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術—最強のプレゼンテーション15のルール—』講談社, 2002.10(ブルーバックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイルン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBSブリタニカ, 1993, ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999, ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10—話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『一行力』草思社, 2004.4
- 指導法
- ・岡本浩一『上達の法則—効率のよい努力を科学する』PHP研究所, 2002.5(PHP新書)¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには—駄目な犬の困った飼い主にならないために—』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)
- ・中野民夫『ワークショップ—新しい学びと創造の場—』岩波書店, 2003.04(岩波新書)
- ・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿—あの失敗から何を学ぶか—』小学館, 2006.4, ¥1300
- ・吉田新一郎『効果10倍の<教える>技術: 授業から企業研修まで』PHP研究所, 2006(PHP新書)
- 『情報の達人』の歴史
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8, 1993.8, pp.553-556.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.
- ・仁上幸治『『図書館の達人』から『情報の達人』へ—利用者教育映像教材の進化 15 年の集大成—』『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・『情報の達人』ホームページ:  
<http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)
- 図書館長の仕事
- ・『ある図書館長の一日 : 市町村立図書館経営の実際』紀伊國屋書店, 1998: (27 分): VHS (図書館の達人; 司書実務編 pt.3 ; 7).
- ・ちばおさむ『図書館長の仕事: 「本のある広場」をつくった図書館長の実践記』日本図書館協会, 2008 (JLA 図書館実践シリーズ; 10).
- カメ
- ・長坂拓也・文 大片忠明・絵『かめ』フレーベル館, 2009 (フレーベル館だいすきしぜん 26)
- ・田中美穂『亀のひみつ』WAVE 出版, 2012.8. ★倉敷の古書店「蟲文庫」店主

## ■ 2. 参考サイト \*\*\*\*\*

### 【1】広告

- ・京都広告塾 編『巧告。 : 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京 : インプレスジャパン, 2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>
- ・京都広告塾 編『効告。 : 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京 : インプレスジャパン, 2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>
- ・京都広告塾 編『考告。 : 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京 : インプレスジャパン, 2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>

### 【2】広告アーカイブ

- ・新聞広告データアーカイブ:  
<http://www.pressnet.or.jp/adarc/data/>
- ・動画 NOW!! CM 企業 一覧:  
<http://www.doga-now.com/company/>
- ・宣伝会議:<http://www.sendenkaigi.com/>
- ・PRIR:  
<http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>
- ・百式 POP\*POP 広告・マーケティング カテゴリー:  
<http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

**【3】デザイン**

- ・服部デザイン研究所:「THE Know-How」レイアウト能力:  
[http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl\\_lyt.html](http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl_lyt.html)
- ・増田デザイン事務所 Masuda Design Office:  
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/index.html>
- ・グラフィックデザイン:  
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>
- ・MdN: <http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18/> または <http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55/>
- ・グラフィックデザイン:  
<http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

**【4】編集**

- ・松岡正剛事務所 セイゴオちゃんねる:  
<http://www.isis.ne.jp/seigowchannel/>
- ・編集工学研究所: <http://www.eel.co.jp/>
- ・イシス編集学校: <http://es.isis.ne.jp/>
- ・松丸本舗: <http://www.matsumaru-hompo.jp/>
- ・松岡正剛の千夜千冊: <http://1000ya.isis.ne.jp/>

**【5】CIとブランディング**

- ・パオス: <http://www.paos.net/>
- ・佐藤可士和: <http://kashiwasato.com/>

**【6】編集・広告の学校**

- ・編集の学校/文章の学校: <http://www.editorschool.jp/>
- ・～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題:

- <http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>
- ・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>
- ・宣伝会議の教育講座:  
<http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>
- ・京都広告塾: <http://www1.newweb.ne.jp/wa/academy/>

**【7】オフィスソフトを自習する**

- Microsoft atLife  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/>
- TIPS(使い方ガイド)  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/>
- Office (オフィス) の活用方法と Tips をご紹介  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/office.aspx>
- Word  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/word.aspx>
- Excel  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/excel.aspx>
- PowerPoint  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/powerpoint.aspx>

**【8】プレゼンテーションの方法を学ぶ**

- ・Presentation.jp (プレゼンテーション総合サイト):  
<http://www.presentation.jp/index.html>
- ・資料作成:  
<http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryou/trap.ppt.html>
- ・高橋メソッド: <http://www.rubycolor.org/takahashi/>

**■ 3. 講師紹介**

\*\*\*\*\*

**仁上幸治** (にかみ・こうじ): 図書館サービス計画研究所 代表/元・帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書/非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学) ◎電子メール: [nikamikoji@yahoo.co.jp](mailto:nikamikoji@yahoo.co.jp)  
講演生涯合計 160 本(2013 年 8 月末時点)

◎ホームページ: <http://sites.google.com/site/nikamik23/>

◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン): <https://sites.google.com/site/tosaken23/>

**◎教材開発**

- ・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店, 2007.2.

**◎著書**

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドラインー図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開をめざしてー』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381
- ・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房, 2002.10(新図書館学シリーズ第8巻), ¥1900
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』新訂版, 日本図書館協会, 2010.3(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, II-8)
- ・大学導入教育研究会編『よくわかるライフデザイン入門ー大学生のための必須学習術ー』第二版, 古今書院, 2011.2.10. 120p. ¥1900.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3

**◎最近の論文**

- ・「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集 図書館アピール)
- ・「研究文献レビュー」「図書館の「広報」は進化しているか?ー説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践ー」『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24 [CA1728] HTML 版: <http://current.ndl.go.jp/ca1728>
- ・「情報リテラシー底上げ奮戦記ー自習時間ほぼゼロ学生のための論文・プレゼン指導ー」『帝京大学総合教育センター論集』(2), 2011.3, pp.83-105.
- ・「図書館の魅力は細部に宿るー「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略ー」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成ー日本版ガイドラインの作成過程を中心にー」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』(2011.5.14), pp.91-94.
- ・「これからの「PR」の話をしようーいまを生き延びるための図書館経営学ー」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132.(特集「図書館のPR」)
- ・「マルチメディアのフル活用による双方向授業の試みースライドショー, 映像教材, ファイル配布・提出, アンケートの各システムを使い切るー」『帝京大学情報処理センター年報』(13), 2011.3.31, pp.77-91.(実刊日: 2011.7.25)
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の射程ー情報リテラシー教育という枠組みの可能性と限界ー」『日本



図書館情報学会秋季研究集会発表要綱(2011.11.12), pp.53-56.

・「学校図書館のブランディング戦略ー評価されるためにギリギリまで工夫を！ー」『学図研ニュース』No.326, 2013.4.1, pp.2-6.

・「図書館長のための自分ブランディング講座ー内外に味方を増やすキャラクターの作り方ー」全国公共図書館協議会研究集会講演録(2013.06.28-東京都立中央図書館)

・「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するかー教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言ー」『帝京大学総合教育センター論集』(5), 2013, 2014.3, pp.69-93.

・「忙しい図書館員のための PC 使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう！ー」『短期大学図書館研究』33, 2014.3, pp.107-122. (CD-ROM 版あり)

(2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会/精華女子短期大学)

・「情報メディアは作ってみればわかるーメディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫ー」『帝京大学情報処理センター年報』(16), 2013, 2014.3.31(7.26 刊行), pp.95-109.

### ◎最近の講演(2012- )

・2012.01.12-関東地区公共図書館協議会 図書館運営研究会「図書館ブランディング「超」入門ー何を誰にどうアピールするかー」浦和コミュニティセンター

・2012.01.26-仙台市民図書館研修「魅せるレファレンスサービスの極意ー専門職のサバイバル戦略を練り直すー」仙台市泉図書館

・2012.01.28-MULU(みちのくライブラリアン連合)11 月茶話会 話題提供「図書館ブランディング「超」入門講座ー何を誰にどうアピールするかー」東北学院大学中央図書館

・2012.02.03-岐阜県図書館協会図書館活動研究大会 大会テーマ「広報戦略の実践へ！」講演「図書館ブランディング「超」入門ー自己アピールのための広報戦略ー」岐阜県図書館 研修室

・2012.02.16- 国立大学図書館協会中国四国地区協会研修会「大学図書館の広報を考える」講演「大学図書館員の自分ブランディング戦略ー専門職サバイバルのための非公式マニュアルー」広島大学東広島キャンパス

・2012.02.18-大学図書館問題研究会兵庫支部 2 月例会 兼 トサケンセミナー「4 月に使える！新入生ガイダンスの小ワザ即効テクニック！」講演「イマドキ学生気質報告ー司書課程受講生に見る理想の図書館員の能力と姿勢ー」キャンパスポート大阪

・2012.02.24-芝浦工業大学図書館ガイダンス研修【講演とワークショップ】「オリエンテーションをもっと魅力的に！ーすぐできる好感度アップ企画・演出術ー」芝浦工業大学 豊洲キャンパス

・2012.02.27-帝京大学総合教育センター「公共図書館及び学校図書館スタッフ向けスキルアップ・セミナー」第 1 回・図書館広報講座「図書館ブランディング「超」入門ー何を誰にどうアピールするかー」(講義とワークショップ) 帝京大学メディアライブラリーセンター情報学習室

・2012.04.27-私立大学図書館協会企画広報研究分科会(1)-分科会の歴史 帝京大学メディアライブラリーセンター

・2012.06.08-私立大学図書館協会企画広報研究分科会(2)-ブランディング 昭和女子大学 80 年館 図書館

・2012.08.22-京都図書館大会-自分ブランディング検定 国立国会図書館関西館

・2012.08.23-トサケン名古屋勉強会-自分ブランディング検定 MYCAFE(名古屋市伏見)

・2012.09.03-私立大学図書館協会企画広報研究分科会(3)-利用者教育論 立正大学

・2012.09.14-埼玉県図書館協会平成 24 年度第4回図書館中級職員研修会 講義とワークショップ「図書館ブランディング実践講座ー明日から使える即効ワークショップー」埼玉県館 6D会議室

・2012.09.29-全国女性会館協議会・日本女性学習財団 2012 年度地域における男女共同参画関与研修事業「女性関連施設の情報発信を再設計するー“アクティブ”を印象づけるブランド化戦略ー」講義・ワークショップ「ブランディング超入門ー何を誰にどうアピールするかー」日本女子会館 5 階会議室

・2012.11.21-図書館総合展フォーラム-トサケンセミナー「図書館員のための自分ブランディング検定」基調講演「図書館ブランディングの現在」パシフィコ横浜

・2012.12.14-図書館地区別研修中国・四国地区 講義とワークショップ「図書館ブランディング実践講座ー何を誰にどうアピールするかー」岡山県立図書館 2階 多目的ホール

・2012.12.14-播但図書館連絡協議会研究集会「パスファインダー超簡単講座ー新しい案内ツールをどう作るかー」姫路市立城内図書館 2階 大会議室

・2013.03.07-奈良県図書館協会公共図書館部会 職員研修会 講義とワークショップ「図書館ブランディング実践講座ー見られたいイメージを地域ぐるみでアピールしようー」奈良県社会福祉総合センター

・2013.03.07-図書館サービス計画研究所 トサケンセミナー in 三重「図書館員の自分ブランディング実践講座ー見られたい自分イメージのコンセプトマッピングー」酒テラス津 Bamboo(三重県津市)

・2013.03.28-私立大学図書館協会企画広報研究分科会月例会 講演(4)「図書館オリエンテーションの検証ーガイドラインの目標はどこまで達成されたかー」帝京大学メディアライブラリーセンター

・2013.06.28-全国公共図書館協議会研究集会「図書館長のための自分ブランディング講座ー内外に味方を増やすキャラクターの作り方ー」東京都立中央図書館 4 階 多目的ホール

・2013.07.06-07-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別研修「ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディングー潜在ユーザー発掘大作戦ー」九州女子大学・九州女子短期大学付属図書館 3F 多目的学習室(福岡県北九州市)

・2013.08.06-和歌山県学校図書館研究会学校司書部会研究会「もし学校図書館のマネージャーがケラーの『戦略的ブランド・マネジメント』を読んだらーイメージ革新のための劇的ビフォーアフター」県民交流プラザ和歌山ビッグ愛(和歌山市)

・2013.08.11-大学図書館問題研究会全国大会第 8 分科会:利用者支援「イマドキの大学生のココロをつかむー初年次教育・図書館ガイダンス・授業の導入部にもっと工夫を！ー」つくば国際会議場(茨城県つくば市)

・2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会「忙しい図書館員のための PC 使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう！ー」精華女子短期大学(福岡県福岡市)

・2013.08.24-岡山県青年図書館員研修会サマーセミナー× 交流会「おとなしい図書館員のための図書館PR大作戦！ー企画・広報の即効お役立ち小ワザ交換会ー」Cafe & Dining PEACH(岡山県岡山市)

・2013.08.25-金光図書館ミニセミナー「図書館員と図書館長のための自分ブランディング講座ー内外に味方を増やすキャラクターの作り方ー」金光図書館(岡山県浅口市金光町)

・2013.08.25-大学図書館問題研究会兵庫支部例会 兼 トサケンセミナー「イマドキの大学生のココロをつかむー初年次教育・図書館ガイダンス・授業の導入部にもっと工夫を！ー」関西学院大学大阪梅田キャンパス(大阪市北区)

- ・2013.10.12-デジタルメディア研究所・図書館サービス計画研究所共催「未来図書館創造会議ーみんなで図書館のことを考えるトークセッションー」基調講演(ウイングス京都、京都市)
- ・2013.10.18-石川県公共図書館長会議「図書館長のための自分ブランディング講座ーコンセプト作りからデザイン展開へー」石川県立図書館(金沢市)
- ・2013.10.29-図書館総合展フォーラム:企画広報研究分科会 30 周年シンポジウム基調講演「図書館サバイバル用「万能道具箱」の今ー企画広報ツールの研究開発 30 年の到達点と課題ー」パシフィコ横浜(横浜市)
- ・2013.11.14-私立大学図書館協会東地区部会研究部研修会「みつけよう・伝えよう 大学図書館の魅力」講演「大学図書館サバイバルのためのブランディング戦略ーコンセプトメイクからデザインへー」桜美林大学(東京都町田市)
- ・2013.12.05-文部科学省図書館地区別研修 関東・甲信越静地区「図書館ブランディング入門ー内外に味方を増やすコミュニケーション戦略ー」神奈川県立川崎図書館(川崎市)
- ・2013.12.28-教員免許状更新講習「学校図書館の活用」【講義と演習】「メディア活用についてのメディア活用による授業をデザインするー楽しさと便利さをキーワードにした学校図書館活用教育の改善ー」帝京大学(東京都八王子市)
- ・2014.01.31-山梨県立図書館 図書館職員専門研修「図書館ブランディング入門」甲府市立図書館(山梨県甲府市)
- ・2014.03.29-情報リテラシー教育フォーラム第 3 回研究会「教える側の情報リテラシーを問いなおすー学校図書館と司書教諭養成の今ー」話題提供「教職志望学生の基礎教養はこれでいいかー教える側の情報リテラシーの現状と課題ー」図書館サービス計画研究所 会議室(西新宿)
- ・2014.05.23-私大協企画広報研究分科会月例会 講演(1)「企画広報力強化のための自主ゼミ型共同研究ー専門性崩壊状況における存在感訴求の可能性を求めてー」明治大学和泉キャンパス 図書館ホール

- ・2014.07.30-神奈川県教育委員会学校図書館ブランディング論研修講座「学校司書のためのブランディング入門ーイメージ革新のための劇的ビフォーアフター」神奈川県立神奈川県総合高等学校 多目的ホール(神奈川県横浜市)・2014.08.13-MULU5 周年記念定例茶話会第 50 回「24 時間茶話会 MULU は地球(みちのく)を救う!ー今日日はまるごと図書館三昧ー」講演「お疲れライブラリアン講座 即効! 元気回復! PR・ブランディング・広報のすご技を一挙に紹介します!」東北大学川内キャンパス

★講演予定(一部未定)

- ・2014.09.04-05-私立大学図書館協会 中国四国地区協議会研究会「驚くほど学生が集まる図書館演出術ー少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデアー」山陽学園大学図書館(岡山市)
- ・2014.09.11-12-私立大学図書館協会 東海地区協議会実務担当者研修会「指導場面での演出力はこれでいいかー教える側の情報リテラシーを問い直すー」名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎(名古屋市)
- ・2014.09.20-22-図書館サービス計画研究所+地域資料デジタル化研究会共催「図書館ブランディングフェスタ 2014」(仮称)山中湖情報創造館(予定)
- ・2014.10.10-千葉県「課題解決支援サービス研修会」千葉県立西部図書館
- ・2014.11.01-全国図書館大会 図書館利用教育分科会「図書館利用教育の実践力の今ー委員会創設 25 周年、次に向けての展望を開く」基調講演「図書館利用教育はどこまで進化したか」明治大学駿河台キャンパス(東京)
- ・2014.11.18-沖縄県図書館協会研修会 講演
- ・2014.12.10-文部科学省 図書館地区別研修 東海・北陸「利用者を呼び込むには」(仮題)石川県立図書館(金沢市)

以上(配付資料／2014.8.22 作成) ■□■